

研究生日语

(非日语专业用)

杨德润 孟 瑾 编



吉林大学出版社

研 究 生 日 语

(非日语专业用)

杨德润 孟瑾 编

吉 林 大 学 出 版 社

乙

26-4/10

研 究 生 日 语

(非日语专业用)

杨德润 孟 瑾 编

责任编辑: 李盛洪

封面设计: 张沐沉

吉林大学出版社出版
(长春市东中华路29号)

吉林省新华书店发行
延边新华印刷厂印刷

开本: 850×1168毫米 1/32

1992年6月第1版

印张: 10.5

1992年6月第1次印刷

字数: 259千字

印数: 1- 1500 册

ISBN 7-5601-1189-0/H·88

定价: 3.00 元

前 言

这是一本非日语专业研究生用日语教材。该教材原由孟瑾同志起草编写，后在校内试用。经三年多的教学实践，证明比较适合于非日语专业研究生教学使用。随着日语教学形势的发展，对非日语专业研究生日语教学，提出了更高的要求。为适应新形势教学的需要，这次由杨德润同志主笔，和孟瑾同志合作，对原试用教材做了必要的增删与修订，改写成非日语专业用《研究生日语》。现在正式出版与读者见面。

本教材主要特点是：(1)语法、难句等注释全部使用日语，旨在更快地提高学生阅读原文的水平和运用日语的实践能力；(2)语法的注释注重了语法的系统性、科学性和阶段性，目的是在学生既有的语法概念中，培养日语逻辑思维与习惯表达方式；(3)主课文中的难点，在主文之后，均有较详尽的解析和说明；(4)选材广泛。除常见的题材外，还编收了一定篇幅的边缘科学，超时代预测性科技文章。还有步骤地选收了部分读解文章；(5)文章在排列上贯彻了循序渐进的原则，由浅入深，从简到繁、层次分明。

本教材分上、下两部分。可供一个学年两个学期使用，周学时以六课时为宜。

本教材不仅供研究生教学使用，也可作具有中级以上日语水平的广大读者的自学用书，是一本方便教与学的较高层次的日语教材。

由于我们对日语文法理论的宏观掌握和微观研究不够，又

限于经验和水平，书中难免有不妥及错误之处，恳请广大读者和同行不吝赐教。

编 者

1992年3月

目 次

上篇

1—176

第一課	旅は買物……………	(3)
第二課	脳の高次機能の解明を望む……………	(12)
第三課	何かになることと何かをすること……………	(20)
第四課	一方交通の文化……………	(27)
第五課	宝の袋……………	(32)
第六課	天下一の馬……………	(39)
第七課	現代都市の生活構造……………	(56)
第八課	30年後の数値解析……………	(66)
第九課	一飛び……………	(73)
第十課	2020年の初夏のある日……………	(81)
第十一課	中村さん……………	(91)
第十二課	兵法……………	(97)
第十三課	セメント樽の中の手紙……………	(105)
第十四課	喫茶店……………	(116)
第十五課	風土の声……………	(125)
第十六課	遺伝学……………	(136)
第十七課	古代史ブーム……………	(145)
第十八課	「ウチ」の意識……………	(154)
第十九課	古いものと新しいもの……………	(164)

下篇

177—327

第二十課	一、どうも……………	(179)
	二、おかしいこと二つ……………	(182)

第二十一課	一、日向……………	(188)
	二、食事……………	(190)
第二十二課	一、文明の国スウェーデン……………	(197)
	二、科学の進歩……………	(207)
第二十三課	一、手の文化……………	(216)
	二、読書について……………	(220)
第二十四課	一、智恵子の空……………	(227)
	二、腹が痛い……………	(232)
第二十五課	一、沖縄の手紀から……………	(237)
	二、猫……………	(249)
第二十六課	一、風立ちぬ……………	(259)
	二、芝生の刈り方……………	(268)
第二十七課	一、兄弟……………	(279)
	二、応変……………	(284)
第二十八課	一、祭りとお正月……………	(290)
	二、知識と考え……………	(299)
第二十九課	一、隔絶の時代……………	(306)
	二、案内者……………	(310)
第三十課	一、言語と文学……………	(318)
	二、ことばの作用……………	(322)

上 篇

第一課 旅は買物

《問題集》による

日本人の買物欲のすごさはパリに住む人間なら大抵は知っている。何軒かの大きな免税店にやってくる日本人は、なにしろ観光バスで送り込まれるのである。大型バスで買物客がやってくるなどというのは、フランス人の常識を超えている。免税店の経営者は主としてユダヤ系フランス人であるが、ユダヤ人と日本の旅行代理店が組むと向かうところ敵なしという商法になるものらしい。

日本の人人は市中の免税店でブランド物の諸製品を買い込み、シャルル・ド・ゴール空港の免税店でコニャックを三本ずつ買い、さらにアンカレッジの空港内免税店で追加の買物をする。いやはやすごい講買欲であり、バイタリティーである。もっとも昨今はアンカレッジ空港の売店にハングル文字が登場したところをみると、旺盛な講買欲は日本人ばかりでなく韓国の人人にも共通の現象であるらしい。

生活感覚の相違だと思うのだが、欧米とくにヨーロッパの人間には旅先でむやみやたらと物を買うという習慣がない。日本を訪れるヨーロッパの人人はビジネス・トリップだろうと休暇旅行だろうと、ほんの記念品程度のものは買っても、海外における日本人旅行者のように、盛大な買物はしない。なぜ買物をしないかという、それは簡単で、生活設計上不要なものは買わないというだけのことだ。

そういうヨーロッパからの旅行者を日本人の物差しでみると“ケチ”ということになるらしい。私が日本語を解さないと見当をつけて「ガイジンはケチだからね」と店の人が声高にいうのを聞いたのは決して一度や二度ではない。

たしかになかには、日本土産が料理屋で無心したハシー本という極端な“ケチ”もいる。しかし、それが“ケチ”であるか“合理主義”であるかは議論の分かれるところであろう。日本へ行ったらカメラを買わなければならぬ、デジタルの時計や名刺型の電算機を買わなければならぬという強迫観念にとらわれているヨーロッパ人はほとんどいない。長い人生のなかでカメラを一度も手にしたことのない人間はザラにいる。

したがって、旅行者の買物による貿易外収支は日本側の圧倒的入超であって、この点は貿易摩擦で揺れる日本対ECの交渉の席で、日本側は堂堂と主張してしかるべきだろう。実際、パリの免税店やルイ・ヴィトン本店などに日本人が落としていく外貨の累積は大変な額であろうと想像される。シャルル・ド・ゴール空港で日本人の買っていく最高級のコニャックにしても、ヘネシー社やマルテル社は相当の恩恵を得ているはずだ。

ただ、フランス人たる私によく理解できない点は、ごく一部の人を除いて、日本人には食後にコニャックを暖めるという習慣がほとんどないにもかかわらず、シャルル・ド・ゴール空港で高級コニャックを買っていくのはなぜだろうかという点である。

逆の立場に立って、フランス人が成田の免税店で、ふだん飲む習慣のない日本酒を買っていくかと言えば、まず買うことはないだろう。私たちが外国旅行の際に免税店で酒を求めるのは行先国のホテル、あるいは自宅で飲むためのアルコール類を求めるのであって、酒の嫌いな人飲まない人は一切買

わない。それを日本人旅行者は成人である限り男女を問わず
コンьяックを買い、ウイスキーをかう。しかし飲酒の習慣の
ある人でも、コニヤックを買って帰りながら自宅では焼酎や
ウイスキーを飲む。すると、あの大量のコニヤックはどこへ
行ってしまうのだろうか？！

しかし、日本に長期滞在している私は、だんだん日本の人
人の旺盛な購買欲について、完全にではないが理解するよう
になってきた。あるとき、フランスから来た友人と地方を旅
行した。彼がさる地方空港で私に次のような疑問をぶつけた
のである。

「いま、そこの売店をのぞいたのだがね、売っているものは
ほとんど食料品だ。それを日本人の乗客たちはいそいそと買
い込んでいます。トーキョーは食糧が不足しているのかい」

私は彼の無邪気な疑問にふき出した後、なるほどそういう
見方もあるのかと真剣に考えた。日本人にとっては日常的な
風景ではあっても、旅先で生きているカニだのカマボコだの
を、それも空港の売店で買う習慣のないヨーロッパの人間に
してみればやはり異常なのだろうと思わざるをえなかった。

そう思って考えてみると、日本の人人の旺盛な購買欲は必
ずしも海外においてのみ発揮されるのではなく、国内旅行の
際にもかなり旺盛に発揮されるのである。

たとえば干歳ちとせ空港の売店にはバターがある。バターなど統
一価格で東京でも同じ値段だろうになぜ売れるだろう。^{はかた}博多
の空港には辛子明太子からしめいだいが置いてあるけれど、東京だって売っ
ている。数え上げればキリがない。とにかく国内線旅客機の
なかには食料品をつめ込んだペーパーバッグの洪水である。

日本の国内線旅客機は正月休みや夏休みの時期を除けば客
の大部分は男性である。これも実は異常な風景なのだが、そ
れはこの稿とはまた別の問題なので論じるのは他の機会に譲

るとして、その大半がビジネス・トリップであると思われるにもかかわらず、彼らはアタッシュケースのほかに食料品のペーパーバッグをぶらさげているのである。

フランスから来た友人の「……トーキョーは食糧が不足しているのかい」という疑問は、考えてみればもっともな疑問かもしれないと私は思った。あるいは東欧のポーランドあたりでは、地方からワルシャワに肉をぶらさげて帰る旅行者がいるかもしれない。

だが、もちろん、東京は飢えているどころか、若いお嬢さんたちはダイエットに汲汲としているありさまである。東京で求められない食品などまず考えられない。値段だって、私を見る限り、ペーパーバッグの重さに閉口するほど格差はないように思う。だとしたら一体なぜ買うのか。地方経済の振興のためか、いや、必ずしもそうとはいえない。^{はねだ}羽田空港にも売店は多いのである。そこには東京名産の菓子類はもとより、地方直送を銘打った生鮮食品まで並べられているのである。

となると、日本の人人は、旅とは買物であるという生活哲学を持っているのではないかと結論づけるしか考えようがない。つまりルイ・ヴィトンもコニャックも毛ガニも辛子明太子も“旅は買物”という日本人の欲望を満たしているという点では同列だという結論に私は達したのである。日本人を理解するにはやはり時間がかかる。

一、単語

すごさ〔凄さ〕(名)

①吓人。可怕。②厉害。

ユダヤ(名)

犹太。

シャルル・ド・ゴール(詞組)

法国巴黎戴高乐机

場。

- コニャック(名) 格涅克(法国产的一种白兰地酒)
- アンカレッジ(名) 安克雷奇(美国阿拉斯加州港市)
- いやはや(感) 唉呀。啊呀。
- バイタリティー(名) 活力。活气。生气。
- さっこん〔昨今〕(名) 最近。近来。
- ハングル(名) 朝鲜语的(表音)字母。
- むやみやたら(と)(副) ①胡乱。随便 ②过分。
- ビジネス・トリップ(詞組) 公差旅行。公事旅行。
- けんとうをつける〔見当を付ける〕(詞組) 估计。预计。
- こわだか〔声高〕(名・形動) 高声。大声。
- むしん〔無心〕(名・他サ) 不在意。不往心里去。
- デジタル(名) 数字的。デジタル時計／数字显示钟表。
- ざら(副) 常见。不稀奇。
- EC(縮) 欧洲共同体。
- ルイ・ヴィトン(名) 路易・比頓(法国著名提包商店及其商标)
- ヘネシー(名) 轩尼诗(法国白兰地酒的商标名)
- マルテル(名) 马泰尔(法国白兰地酒的商标名)
- さる〔然る〕(連体) 某某。某一。某个。
- むじゃき〔無邪気〕(名・形動) 天真。单纯。幼稚。
- カニ〔蟹〕(名) 蟹。螃蟹。
- カマボコ〔蒲鉾〕(名) 鱼糕(把生鱼肉磨成糊状蒸熟)
- アタッシュ・ケース(組) 手提皮包。
- ペーパー・バッグ(詞組) 纸制提包。
- ワルシャワ(地名) 华沙。
- ダイエット(名) 减肥。

きゅうきゅう(トタル・形動)

无暇他顾。孜孜不倦。一心一意。

めいうつ〔銘打つ〕(他五)

做招牌。做幌子。

けがニ〔毛蟹〕(名)

毛蟹。

どうれつ〔同列〕(名)

同列。同地位(程度, 待遇)。

二、句式

1. | …ばかりでなく, …も | 不但…, 而且…

注: 「…だけではない, …また…」という意味。

参考例文

- ①もし船で行けば, 費用がかかるばかりでなく, 日数もかかる。
- ②新鮮な果物はおいしいばかりでなく, 栄養もたっぷりだ。
- ③彼は自分の悪いことを認めないばかりでなく, またほかの人にも言いがかりをつける。

2. | …かというと | 说到…, 要说…

注: 「…かと言えば」と同じ意味だが, その文の前に「どんなにして…」 「どんな…」 「どう…」 「どちら…」 「なぜ…」 などという言葉がおくが多い。

参考例文

- ①バナナと密柑^{みかん}とどちらが好きかというと, やはり密柑のほうが好きです。
- ②なぜそう考えるのは間違いかというと, それは事実にあわないからだ。
- ③党が婦人にどんなに配慮をよせているかというと, 私たち女性パイロットに対する養成の面を見てもよくわ

かる。

3. | …にもかかわらず | 尽管…可是…；虽然…不过…

注：「…なのに」に当たる書き言葉として、改まった挨拶などには話し言葉でも使う。

参考例文

①当局の必死の捜査にもかかわらず、未だに犯人の手がかりがつかめていない。

②あの方は体がお弱いにもかかわらず、一日も休まずご出席になります。

注：「…にもかかわらず」の「も」をとって、「…にかかわらず」となると、「…に關係なく」の意味になる。

参考例文

①当日は雨天にかかわらず、会を開きます。

②金のあるなしにかかわらず、これはやるべきだ。

③反対の有無にかかわらずやっしまえ。

4. | …用言，助動詞推量形う（よう）＋に | 应当…可是；理應…却。

注：「…だろうと思うが、しかし」という意味を表わす。

参考例文

①A：感心ですね、あの子は。

B：あの子って。

A：新聞配達の子の事ですよ。毎朝寒かろうに，一日も休まないで…

②A：鈴木さん，もどりました。

B：いいえ，まだですよ。

A：遅いですね，もどっていい頃だろうに。

5. | …どころか | 岂止…甚至；不但…就连…

注：…というのは適当ではない，そうではなく，もっと極端で…」という意味で，「どころか」につづく部分を強調する。

参考例文

- ①A: 今日は涼しくて助かりますね。
B: 涼しいどころか寒いですよ。
- ②A: 彼, かなりできるようですね。
B: かなりどころか先生よりもうまいくらいですよ。

三、词汇・词法等

1. 強迫観念にとらわれている／受強迫观念的驱使。
「捕られる・囚われる」は、ある思想、気持ちなどにこだわる；拘束されて、自由に考えることができなくなる，という意味で使われる。
例：外見に～な！
2. しかるべき(連語)／理所当然。
「しかるべき〔然るべき〕」(連語)
①そうするのが当然である；そうあるべき。
例：君はあやまって～だ。
②それにふさわしい；適当だ。
例：東京に出て、～学校に入って、完全に忠実に文学を学んで見たいとのことであった。
3. 「…かい」(終助)疑問あるいは反問の語気を表わす。親しい間に使われる男性用語。
例：そんなことがある～。
4. …疑問にふき出した／对…疑問不由地噗地笑出声来。
「吹き出す」(自五) 気体、液体、粉状のものが穴から激しく出るという様態を表わす。
例：石油が配管から～した。
5. 日本の人人は、旅とは買物であるという生活哲学を持っているのではないかと結論づけるしか考えようがな